

# 伊万里 市議会だより

第38号

平成23年  
(2011年) 8月



暑かったけど、頑張りました！ (第43回伊万里市スポーツ少年団交流大会)

6月補正： 2億4,497万円  
補正総額： 212億4,697万円  
(対前年度同期 +3億1,905万円、+1.5%)

## ■特集

会派制を導入しました！

★平成23年第3回定例会は9月2日(金)開会予定です。

## 平成23年伊万里市議会第2回定例会 会期日程

6月

6月13日～29日17日間  
開議時刻 午前10時

日	種別	内容
13(木)	本会議	開会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等12件 ……一括上程 市長提出議案等の提案理由説明
15(水)	本会議	議案等に対する質疑
16(木)	本会議	議案等に対する質疑 議案の常任委員会付託
20(月)	本会議	一般市政に対する質問
21(火)	本会議	一般市政に対する質問
22(水)	本会議	一般市政に対する質問
23(木)	休会	常任委員会
24(金)	休会	常任委員会
27(月)	休会	正副委員長会
29(水)	本会議	追加議案、決議案の上程 追加議案、決議案の提案理由説明 追加議案、決議案に対する質疑 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 議案の付議順序により討論、採決 特別委員会委員の選任、正副委員長の互選 選挙管理委員会委員及び補充員の選挙 閉会



議長就任あいさつ  
議長 内山 泰宏

この度、議長に就任し改めて身の引き締まる思いであります。よろしくお願ひします。

議長として今後の議会運営の目標として各議員に3つの約束をいたしました。

1. 東日本大震災、福島原発事故に係ることを検証し伊万里市に適した防災計画等の見直しを議会で議論していくこと。
2. 議員数は現在24名でありますが、この議員数が適当かどうかを議会で議論していくこと。
3. 今まで以上に市民の方との交流

について何が必要なのか、どのような方法がいいのか等、議会で議論していくこと。

以上3項目であります。

さっそく、各々議員で研修されている方もいらつしやります。

それぞれ報告会等でされるのではないかと思っています。

一議会と皆様との交流がこれまで以上に近くなるよう議会としても努力してまいります。

副議長… 前田 久年  
議会選出監査員… 高木 久彦

### 「玄海原発について住民説明会の開催を求める請願」

\* 請願者： 玄海原発プルサーマル裁判の会 石丸初美  
プルサーマルと佐賀県の100年を考える会 野中宏樹  
原発に依存しないエネルギーと街づくり委員会・九州 藤田祐幸

\* 紹介議員： 占野秀男、井手清敏

\* 要旨： 福島原発事故により、原発の安全神話は崩れた。経済産業省原子力安全保安院は安全性について大臣の指示は守られているが、内閣府原子力安全委員会の斑目委員長は従来の安全設計審査指針は間違っていたと明言し、指針改訂を明言している。このように原子力発電には疑問が多い。よって塚部市長は、古川知事に対して伊万里市内での説明会開催を国に求めるよう請願する。

【採決結果】 総務委員会：不採択（賛成少数） 本会議：不採択（賛成少数）

議長あいさつ・定例会会期日程など

## 特集 会派制を導入しました！

多くの市議会では既に会派制が導入されていますが、伊万里市議会は、今回初めて導入しました。数年前から議会運営委員会および会派制移行委員会で協議を重ね、今回の選挙後からの導入を決定していたものです。会派による議会運営の研究など、課題もありますが、ひとまず結成された会派の状況をお知らせします。

会 派 名	メンバー（◎印は会派代表）	目 的
い ぞう かい 伊 想 会	◎松尾雅宏、多久島 繁、 田中啓三	市民に分かりやすい市議会運営をめざし、市発展のための考察を行い、調査・研究をする
しん し かい 新 志 会	◎馬場 繁、香月孝夫、 東 真生、井手 勲、 梶山 太	市勢の発展と市議会の活性化を進めるために、政策研究及び熟議を行い、市民生活の向上に寄与することを目的とする
こう し かい 高 志 会	◎渡邊英洋、井手清敏、 内山泰宏	ベテラン、中堅、新人とバランスがとれ、常に市民の代表としての誇りと使命感を持った、文字どおり志の高い会派である
い せい かい 伊 政 会	◎占野秀男、山口恭寿	志を同じくする者で市政発展を目指す
い しん かい 伊 新 会	◎副島 明	議会活動基本条例の制定を目指し、市民の参加を推進して市民に開かれた議会をつくる
ぜん しん かい 前 進 会	◎前田和人	伊万里市議会活動の前進に資するため
じみん 自民クラブ	◎高木久彦、草野 謙、 笠原義久、福田喜一	二元代表制における議会の役割を十分に果たし、市民から評価される議会づくりを目指す研究をする。
みどり・みらい伊万里	◎盛 泰子	地方自治の原点に立ち戻り、二元代表制の一翼を担う議会として積極的に学び、政策提言に努める
こう めい とう 公 明 党	◎樋渡雅純	党の政治理念にのっとり、その実現に向け活動すると共に、より身近な議会・議員を目指す
ひ りゅう かい 飛 龍 会	◎松尾博幸、前田久年、 松永孝三	議会の政策機能を高め、賛同政策集団として討議型民主主義の確立の実現を目指す

※会派：議会内に結成された議員の同志的集合体のことをいう（『地方議会運営事典』より）



## 総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に所属しない事項

当委員会に付託されました条例議案1件、一般議案1件、補正予算1件について、審査の結果、全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。

○条例改正議案は、地方税法の改正により、東日本大震災で居住することが出来なくなった住宅の「住宅ローン控除」を、平成25年度分以降の市民税においても継続して適用できるようにするための改正です。現在、市内で該当する方はありません。

○一般議案は、県内の市・町で構成する「佐賀県市町総合事務組合」の組織に変化があるため、規約を変更する内容です。

○補正予算では、県の「地域防災力向上促進事業費補助金」を活用し、防災講演会を開催する経費として50万円があります。釜石市防災アドバイザーとして「釜石の奇跡」を生んだ片田敏孝・群馬大学大学院教授を講師として講演会が開催されます。当初は市民センターでの予定でしたが、多くの皆さんが聴講できるように、市民会館に変更になりました。実体験に基づいたお話を聞くことができますので、お誘い合わせの上、ご来場ください。



総務委員会メンバー

大津波に見舞われた海辺の小中学校で犠牲者ゼロという「釜石の奇跡」を生んだ……

片田敏孝さん・

釜石市防災アドバイザー 講演会

★8月24日(日) 13:30～

★伊万里市民会館 大ホール

- ・「9月の台風にご用心」  
佐賀地方気象台 次長 立石昭二さん
- ・特別講演「東日本大震災にみる命の分岐点  
～求められる命を守る主体的姿勢～」 片田敏孝さん

《入場無料。参加希望者は8月19日(金)までに、市役所総務課23-2123へご連絡ください》

○「玄海原発について住民説明会の開催を求める請願」については、紹介議員2名から説明を受けた後に審査しました。賛成、反対、継続審査の三意見があり、採決の結果、不採択と決定しました。

○管内視察として消防本部を訪問し、状況把握と今後の課題についての意見交換を行いました。また、所管事項として、黒澤サテライト跡の利用計画説明などの説明を受けました。



現地視察：消防本部

◎渡邊 英洋 ○盛 泰子  
内山 泰宏 東 真生 副島 明  
馬場 繁 山口 恭寿 松永 孝三

## 文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、  
教育委員会、市民病院

当委員会に付託されました、一般会計補正予算、国民健康保険病院事業特別会計補正予算について審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。主な審査内容は次のとおりです。

○中核的病院整備促進事業：整備費分として、前年度施工予定であった国道附加車線工事を、今年度施工する費用の負担。7月より両病院が経営統合するに伴い、運営費用として、本市の病院事業に対する交付税相当額を負担する。(156,778千円)

○市民病院事業清算事業：6月末で、市民病院事業を廃止するに伴い、7月以降の支払いとして医療材料費や企業債の償還、補助金返還等の清算を一般会計で行うためのもの(139,827千円)。質疑の中で、これまでの赤字は解消できたのか、薬局の在り方は、新病院での職員の給与体系については、等に関してそれぞれ質問があり、医療機器の起債については、新病院へ継承される分は新病院で償還され、建物についてはすべて清算される。又、新病院では院外処方に移り、その運用については現在様々に検討中である。給与体系については国、人事院等を参考に基準となるベースを定めるよう8月をめどに作業を進めているとの説明を受けた。

○地域スポーツ人材の活用実践支援事業：小中学校において体育、部活動の専門的指導者が不足していることから、県の補助金を活用し、技術的指導力のある人材を、地域から積極的に活用するもので7校・21人を予定。報償費として1日3000円延465回を想定している。(1,447千円)



現地視察：大川内山 藩役宅跡

○大川内山活用計画策定事業（史跡大川内鍋島窯跡保存整備事業）

活用計画の目的として、①大川内山の持つ「歴史的資産」・「町並み」・「周辺景観」の3つの資源の価値を明らかにする。②史跡の保存、整備だけでなく地域への愛着、地域の魅力、地場産業振興を促す、③その活用のためには整備の基本構想・基本計画がまず必要となる。

また事業内容として、期間は23年度～25年度まで。事業費は250万円。計画策定委員会（10人）の設置や、地域住民作業部会が予定され、今後の細部の策定に専門性が求められることから、プロポーザル方式によるコンサルタントを決定し委託する。との説明があった。

★所管内視察として、震災被害による一部資機材の調達不足が心配される新病院の建設現場において関係者と意見交換し進捗率30%の現状説明を受け、次に大川内山史跡地内である藩役宅跡周辺等で、更に、市散弾銃射撃場の現地において、それぞれに詳しい説明を受けたところである。



文教厚生委員会メンバー

◎樋渡 雅純 ○福田 喜一  
前田 久年 井手 清敏 梶山 太  
多久島 繁 草野 譲 高木 久彦



## 産業建設委員会

★所管 産業部、農業委員会、建設部、水道部

## 【産業部】

○工場等の設置奨励に関する条例の一部を改正する議案〔議案第58号〕について説明があり、優遇措置の条件が変わる場合は、事前の十分な説明が必要であり、企業側に対する打診の状況と反応についての質問に対して、この見直しについて当面对象となる5社には事前に変更の理由を説明して、ご了解を得たとの回答であった。

既に立地いただいている企業には、信頼関係を損ねないよう、十分なフォローアップをしていく事が、今後の企業誘致に必ず有効であると思われるので、今回を含めて企業側との日頃からのコンタクトのあり方について要望した。

○議案第60号 平成23年度伊万里市一般会計補正予算（第2号）についてのうち、農林水産業費の説明があり、重要森林公有化等支援事業について、伊万里市には、有効林として12,000ha程度あり、今回、23年度から2年間の継続事業として県で制度を作られており、伊万里市としては、20haの調査及び間伐の計画をしている。調査対象区域は、今後県や森林組合と協議して設定をしていくと報告がありました。

○米・麦・大豆競争力強化対策事業について、水田農業の担い手自らが将来の経営発展に向けて策定した「効率的生産確立計画」の実現に必要な取り組みを支援する目的で、組織の中に機械を導入するものであり、今回補正は、椿原と内野の2機械利用組合が対象である説明がありました。

○商工費の説明があり、工場等設置奨励事業について、情報通信業の立地呼び込みを目的とした奨励事業であったが、その期間の雇用や設備投資実績に対して補助をするというもので、4月時点で88名、うち伊万里市内から63名の雇用がなされている事が報告されました。

○商業団体活動支援事業について、地元商工団体が実施する義援金付きプレミアム商品券発行事業に対する支援で、商品券は商工会議所、JAそれと市内銀行及び観光協会、商店連

合会等で販売を予定していると報告されました。

## 【建設部】

○議案第61号 平成23年度伊万里市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）について、農業集落排水施設に、改修すべき個所が発見された為、改修に要する費用について説明があった。

## 【水道部】

○井手口川ダム・現地視察

県営事業である井手口川ダム建設工事現場状況と、伊万里市水道部・第9次拡張事業である浄水場建設工事現場の視察を行った。

ダム建設工事が本年度内完成に向けて試験湛水の状況である中、浄水場建設工事も建物はほぼ完成しており、電気計装工事の進捗を待つ状況にある。



現地視察：井手口川ダム

○上水道・簡易水道・工業水道用の平成23年度事業概要の説明。

第9次拡張事業において、本年度は5地区を取り組んでおり、現在1,200人余りの未給水のうち600人余りが給水可能になる予定であると報告がありました。



産業建設委員会メンバー

◎松尾 雅宏 ○前田 和人  
香月 孝夫 井手 勲 松尾 博幸  
笠原 義久 占野 秀男 田中 啓三

## 議員運営委員会報告（各派代表の8人で構成）

改選を終えて新しく議員が誕生しましたが、これまでの1年半ぐらい論議を重ねて新しい議会からは「会派制」で運営することに決まっていました。

これを受けた新しい議員全員が、それぞれ同じような意見や考え方を持ち、会派の決定には従うなどを確認し、会派をつくりました。3人以上を会派と認めるため、一人会派の人はどこかに加入し3人以上とならなければ「会派」として認められません。

その解決策として「連合会派」を認めました。

この結果、別掲（議会だより、特集3ページ）に示した通りの会派と構成議員が届けられ、そのなかの代表で議会運営委員会を構成、協議して進めています。

（ただし、会派の中で会派の代表者と議会運営委員とは違う場合があります）

このためこれまでよりスムーズな議会運営になるのではと期待しましたが、かえって議運と会派代表の役割分担などが明確でないため、整理していきます。

会派内の意思疎通が十分でない会派や、議運委員を出すために連合した会派などがあり、今後運営をしていく中で修正や改革が必要になると思います。

さらに時間をかけて論議を進め、議会運営をよりスムーズに進められるようにしていくため、お互いの努力が必要です。

### 議会運営委員会構成

◎占野 秀男 ○松永 孝三  
東 真正 馬場 繁 草野 譲  
渡邊 英洋 田中 啓三 盛 素子

## 交通網・港湾・企業誘致対策調査特別委員会

市民生活の向上のため、西九州自動車道早期完成の促進、伊万里港インフラ整備の促進、優良企業の誘致推進等に関する調査活動を行う。

◎多久島 繁 ○松尾 博幸 井手 清敏 井手 勲  
松尾 雅宏 高木 久彦 福田 喜一

## 防災・環境施設対策調査特別委員会

原発の安全対策を含めた防災対策に関する調査活動、既存施設の老朽化に伴う新たな一般廃棄物処理施設の整備等に関する調査活動を行う。

◎笠原 義久 ○副島 明 香月 孝夫 前田 和人  
梶山 太 山口 恭寿 樋渡 雅純

## 一部事務組合等議会議員の紹介

今回の統合病院のように、複数の自治体と一緒に事務を行う場合、「一部事務組合」等を作って設置・運営がなされます。その事務に関する意思決定機関としての組合議会に、伊万里市議会からも参加しておりますので、ご紹介します。

組 合 名	業 務 内 容	伊万里市メンバー（敬称略）
伊万里・有田地区 医療福祉組合	・特別養護老人ホーム「くにみ」の 設置及び管理運営に関する事務 ・統合病院の施設整備に関する事務	内山泰宏（議長）、前田久年、 香月孝夫、東 真生、井手清敏、 松尾博幸
伊万里・有田地区衛生組合	・し尿等処理施設の設置及び管理運 営に関する事務 ・火葬場の設置及び管理運営に関す る事務	内山泰宏（議長）、井手 勲、 梶山 太、山口恭寿、松永孝三、 草野 讓、高木久彦、田中啓三
佐賀県西部広域環境組合	4市5町(★)で計画しているごみ処 理広域化計画及び施設整備に関する 事務	前田久年（副議長） 樋渡雅純（文教厚生委員長） 江頭興宣（副市長）
高齢者佐賀県後期高齢者 医療広域連合	後期高齢者医療制度に関する事務の うち、医療給付などの一部	内山泰宏（議長）

★ 伊万里市、武雄市、鹿島市、嬉野市、有田町、大町町、江北町、白石町、太良町

※（ ）表示は充て職です

※会議の日程は、おおむね1週間前に伊万里市役所ホームページで公開されます。

### 5月臨時会トピックス 議長不信任案否決

正副議長など議会の体制を決めるための臨時会が開かれ、その中で、「議長が監査委員の職を政治的駆け引きの道具に使った」等の理由により10人の議員から不信任案が提出され、記名投票の結果、賛成10、反対11で否決となりました。

#### 【賛成議員】

前田和人、副島 明、  
松尾雅宏、多久島 繁、  
草野 讓、高木久彦、  
笠原義久、田中啓三、  
盛 泰子、福田喜一

#### 【反対議員】

香月孝夫、東 真生、  
井手清敏、井手 勲、  
馬場 繁、梶山 太、  
山口恭寿、松永孝三、  
樋渡雅純、渡邊英洋、  
占野秀男

（議席順）

※1人欠席、議長は当事者のため除斥。議長席にある副議長は賛否に関わらない。



一 般 質 問 (質問順)			
議員名	質 問 事 項	議員名	質 問 事 項
副島 明 (一問一答)	1. 統合病院について (1)開院予定の変更について (2)医師の確保の状況について (3)救急医療の受入態勢について (4)市民病院閉院後の活用策について 2. 特別職報酬の決定について 3. 伊万里市散弾銃射撃場の現状について	多久島 繁 (一問一答)	1. 浦ノ崎失効地 (川南造船所跡) について 2. 国見台陸上競技場の第3種公認更新について
馬場 繁 (一問一答)	1. ごみ処理対策について (1)伊万里市環境センターの現状について (2)佐賀県西部広域ごみ処理施設建設について	樋渡雅純 (一問一答)	1. 大震災から学ぶ防災対策 (1)「想定外の大震災」をふまえた見直しの視点 (2)防災意識向上への取り組み (3)被災者支援システムの導入 (4)防災教育と施設での防災機能の課題
山口恭寿 (一問一答)	1. 乳幼児医療費助成制度について (1)助成期間 (2)レセプトについて (3)償還払い制度について 2. 統合病院の小児科医療について (1)小児科24時間救急対応 (2)(小児科)医師の確保 (3)医師不足解消のため医学部を進学する学生に奨学金制度を作れないか	高木久彦 (一問一答)	1. 東日本大震災に対する市の対応について (1)地震・津波対策等について (2)玄海原子力発電所対応について (3)防災対策について 2. 伊万里港 (浦ノ崎地区) の開発について (1)公園整備検討委員会、開発構想策定委員会の開催経過について (2)埋立失効地の所有権について (3)港湾計画の見直しについて
前田和人 (一問一答)	1. 伊万里市の財政状況について (1)現状とそのリスクに対する管理のあり方 (2)財政事情を踏まえて政策決定へのプロセス (3)市民からの要望のあり方 2. 人材育成の観点から行政改革大綱・実施計画について (1)第4次行政改革の実施レビュー・その成果は (2)第5次の実施計画における重点項目は (3)職員能力向上の対策、支援策は 3. 執行部から見る議会のあり方について	盛 泰子 (一問一答)	1. 危機管理対策について (1)地域防災計画、国民保護計画の改定 (2)玄海原子力発電所2号機3号機の運転再開問題 (3)災害時要援護者名簿等の共有 2. 散弾銃射撃場問題における法令遵守について 3. 黒澤問題の検証について
笠原義久 (一問一答)	1. 駅周辺開発の現況と今後の課題 (1)ダイエー跡地開発について (2)駅西ビル前バス停の問題点 2. 西部広域ごみ処理施設の今日迄の経過について	草野 讓 (一問一答)	1. 東日本の大震災を受け本市の防災計画について (1)地震対策について (2)津波対策について (3)原子力災害対策について 2. 4市5町で行う広域ゴミ処理システムの変更について (1)変更に至った理由 (2)地元への説明

一般質問

統合病院に  
ついて

副島 明

**質問** ①開院予定変更による建設費増加予想と額は。②医師確保は。③救急医療の受入態勢は。④市民病院閉院後の跡地活用策。

**答弁** **市民病院理事**

①ランニングコストが考えられるが、大震災の影響なので国土交通省の方針により対応する。②常勤・非常勤合わせて21・7人、うち小児科医は2人。③24時間受入だが、小児科は医師2名では難しい状況。④具体的な活用策はまだ。今後の課題。

特別職報酬等審議会の  
在りかたについて

**質問** どのような意義で設置され、市長の意向はどうか。反映されているか。

**答弁** **総務部長・市長**

報酬審は人事院勧告など必要に応じて委員を任命し開催。現在は設置していない。

伊万里市環境センターの  
現状について

馬場 繁

伊万里市散弾銃射撃場について

い。必要と認める時の開催で次回は未定。市長給与のカットは特例条例で行っており、今期は実施していない。

**質問** ①廃棄物が放置されているとの認識は。どのような対策を取るのか。②基準を大きく上回る鉛が検出されたが、どんな対応と安全対策を取るか。

**答弁** **教育部長・市長**

①その認識はある。場外は地権者の了解を得て搬出した。場内は山中であり苦慮。網・立て看板を設置して立入禁止区域を設ける。②施設は7月9日で休止する。今後、廃棄物の処理や鉛の安全対策に誠意を持って取り組むたい。

**答弁** **市民部長**  
①収集人口23万6千人、日当り処理能力201t、総事業費3.92億円。②セメント原料化選定時の留意事項の検証が必要との判断。③平成27年度稼働は変わっていない。

**質問** 環境センターは、稼働後29年を経過しているが、現在の処理状況及びごみ減量化の取り組みは。

**答弁** **市民部長**

ごみの排出量は平成16年度をピークに年々減少傾向にあるが、施設の補修費は増大していくものと考えている。ごみの減量化対策は、資源物の回収に努め、本年度から使用済蛍光灯の回収を開始した。

佐賀県西部広域ごみ処理施設建設について

**答弁** **市長**  
⑤セメント原料化システムは決定していたものでない。いろいろな意見に立ち止まったというところは意義があった。地域振興策は処理システムの決定に平行して作業を進めていきたい。

**質問** ①全体計画の概要。②処理システム再検証の理由。③平成27年4月稼働に変更はないか。④副市長は市の立場を踏まえて建設委員会に臨んでもらいたい。⑤市長は一度説明をした処理システムが変更になったこと及び松浦町の地域振興策要望はどう考えているか。

**答弁** **副市長**

①全体計画の概要。②処理システム再検証の理由。③平成27年4月稼働に変更はないか。④副市長は市の立場を踏まえて建設委員会に臨んでもらいたい。⑤市長は一度説明をした処理システムが変更になったこと及び松浦町の地域振興策要望はどう考えているか。

乳幼児医療に  
ついて

山口恭寿

**質問** 助成期間を有田町と同じ小学校3年生まで引き上げられないか。

**答弁** **市民部長**

市の財政状況から考えて、即座の対応は大変厳しい。

**質問** 治療費を償還払いではなく現物給付にできないか。

**答弁** **市民部長**

県が医療機関と審査支払機関（健保連）とで契約を結び県内統一して実施している。市単独で導入するとなると、大きな財政負担になってしまう。

統合病院の小児科医療について

**質問** 統合病院の24時間救急医療に対応可能な小児科医療体制の展望について。

**答弁** **市民病院理事**

現状2人の小児科医師だけでは難しい。しかし、他診療科医師の当直時であっても受け入れを行い、必要



時小児科医師を呼出対応する診療体制を検討していく。  
**質問** 小児科医師の確保状況。  
**答弁** 市民病院理事

大学医局に対して、医師の追加派遣を強く働きかけていく。

**質問** 医師確保のため、医大に進学する学生に市から奨学金制度を作って医師確保を図れないか。  
**答弁** 市民病院理事

有効な制度だが、多額な財政負担を要するため大変厳しい。

**質問** 乳幼児医療制度は、地方自治によるバロメータ。伊万里市は他市に比べてかなり劣っている。他市も厳しい財政状況でやり繰りしている中で市長の考えを。  
**答弁** 市長

本来これらの事は県で進めて頂きたい。県に働きかけていく。

### 伊万里市の財政状況

前田和人

**質問** 伊万里市財政に対する市民の不安が大きい。が、財政状況はどうか。今後予定すべき事業や緊急に発生する案件に、即対応する余力があるのか。  
**答弁** 政策経営部長

厳しい状況ではあるが、さらに事業の取捨選択等を充分に行い、中期財政計画に沿って財政基盤の強化に努めていきたい。

**質問** 厳しい財政状況の中、地域や団体から様々な要望が寄せられると思うが。  
**答弁** 市長

財源状況を勘案しながら、公平公正な観点で事業優先順位づけを行っていく。

### 職員の人材育成について

**質問** 重要テーマだが、今後の取り組みは。  
**答弁** 副市長

第4次行政改革の中でも、職員能力向上を目指し様々な研修を実施してきたが、今後政策立案能力やマネジメント力の強化を目指し、OJT研修にも力を入れていきたい。

な研修を実施してきたが、今後政策立案能力やマネジメント力の強化を目指し、OJT研修にも力を入れていきたい。

**質問** 今後、外部との交渉能力等もさらに求められるが、新たなニーズへの対応は。  
**答弁** 総務部長

検証の上、人事評価も含め、実効性ある内容を研究する。

### 議会が目指す改革

**質問** 議会は住民代表である議員が行政のチェック機能として、市民の目線で議論すべき場。伊万里の正しい前進のために行政のプロである市執行部の頑張りや勿論の事、議会でのより活発な議論が必須条件。この議会変革の動きについて、市長の見解は。  
**答弁** 市長

執行部と議会は、車の両輪の如く、双方の役割を充分に果たしていく為に、更に活発な議論を期待している。

### 駅前周辺開発と今後の課題

笠原 義久

**質問** ダイエー跡地の官民一体となつての開発計画は。  
**答弁** 産業部長

市の玄関口に位置し幹線道路に面して利便性もあり重要な場所。買取の打診もあつたが具体的な活用策がない限り民間ベースで開発すべきで当分静観する。

**質問** 西駅バス停の改善は。  
**答弁** 産業部長

一日198便の発着がある。多くの議員から指摘を受けているが朝夕の交通渋滞時にはバスの出入りが難しく横断歩道での歩行者の安全確保にも問題がある。ロータリー広場へのバス停移動も考えられるがこれだけでは問題が残る。

**答弁** 市長  
バス停移動とダイエー跡地を市営駐車場も含め総合的な開発を検討し、将来に禍根を残さない為に議会と

も充分に話し合い早急に結論を出す。

### 広域ごみ処理施設の経過

**質問** 当初から建設地は松浦町ありきだったのでは。  
**答弁** 市長

他の三市五町には8畝以上の適地が見つからず、又松浦町の区長会や婦人会から建設要望があつたから決定した。

**質問** 一年以上にも渡つて学識経験者を中心に建設委員会や検討部会で審議され答申された結果が急にスラグ化方式に変更されたその理由は。  
**答弁** 市長

セメント原料化方式に対し疑問の声が出、再検証した為。

**質問** 再検証には学識経験者を入れるべきだったので。  
**答弁** 市民部長

検討項目が同じであり、職員の知識で十分と考えられた。



一般質問

浦ノ崎失効地  
について

多久島 繁

**質問** 長年辛抱強く解体に向けての運動を続けてきた地元の要望はどうなるのか。

**答弁** 政策経営部長

地元代表も含めた、第5回浦ノ崎地区公園整備検討委員会で決定案が出るので、それを検討し議会に上程するようになる。

**質問** 国有地になった失効地の将来に向けたビジョンは。

**答弁** 政策経営部長

軽スポーツ施設を兼ねた公園としての構想を描いている。基本的には廃棄物処理用地を含めたところで考えている。

**質問** 公園化と工業団地化を含めた港湾計画において、歩道のない波瀬の急カーブが危険だが整備の計画はあるのか。

**答弁** 建設部長

危険な道路と承知している。道路拡幅は線路があり

難しいが、県への働き掛けを頑張る。

国見台陸上競技場の第3種公認更新について

**質問** 期限の平成 年9月

までに更新計画はあるのか。

**答弁** 教育部長

ゴムウレタン走路が傷んでいるため改修に1億円強掛かり、庭球場整備と重なり2億円以上の財源が必要だ。1年間の検定期間願いをだし、財政的には厳しいが改修運動と共に検討したい。

**答弁** 市長

整備手法として1億5千万円の財源を使うため、緊急など投資すべきものか、使えないことはないので公認申請する価値があるかどうかを考える。平成24年まではその間の財源の問題もあり、整備手法も頭に入れない。ながらのスタンスでいき

被災者  
支援システム

樋渡 雅純

**質問** この質問については、2年前にも検討を要望している。これは西宮市が大震災の経験を生かし、災害直後に自治体がすべき業務を一括で管理できるように工夫されたソフトを無償で配布されている。大規模な災害の発生後は、きめ細かな被災者への生活再建の支援を、どう、より早く届けるかが問われている。①本市では災害関連の情報を一元的にデータ管理する体制にあるか。②このシステムは被災証明書、り災証明書発行等に大きな力を発揮するが他の詳しい機能を把握しているか。③今日まで419市町村が申請、導入に踏み切っている。

**答弁** 総務部長

コストは掛からず、新たな設備不必要、無償での研修など利点も多い。更に検討すべきでは。

①総合的なシステムの構

築には至っていない。②機能の中心は被災者台帳と被災者家屋台帳で、他に避難所管理、仮説住宅、復旧復興関連システムなど6つからなる。支援金の給付、緊急物資の配布などスムーズな処理が可能と認識している。

③大震災後、課題となる防災対策は専門家による検証で様々に浮かび上がってくる。被災者支援システムもその一つに上がってくる。

本市においてもハード・ソフト面において取り組む中で検討していく。

**施設の防災機能の課題**

**質問** 避難所として施設が利用されるとき、トラブル等生じないためにも運営方法、役割分担などのマニュアルを作成し準備しておくべきでは。

**答弁** 総務部長

今回、被災地の支援に派遣した22人のうち15人は避難所に入っている。長期避難所の運営については、その経験を生かしていく中で

方策を考えたい。

**東日本大震災と市の対応について**

高木 久彦

**質問** 近くには、原子力発電所があり、市民から不安の声が多く聞かれる。この大震災を市はどう受け止め、どう対応するのか。

**答弁** 総務部長

文部科学省の今後30年以内の市内における震度6以上の「ゆれ」を発生する可能性は、0.1%未満で、佐賀県地震津波減災対策調査では、市内の被害を及ぼす地震はないとされているが、自然災害には、引き続き対策を講じたい。

**答弁** 市長

大震災は、地震、津波、原子力被害の三つが重なったもので、津波被害は、想定外と言える。地震など市内で全くないとは言えないので、「備えあれば憂いなし」あらゆる災害に対し、常時備えておかなければならないと思う。EPZ(防災対策の重点地域)の拡大を含め、原子力防災にも力





を注ぎたい。

### 伊万里港(浦ノ崎地区)の開発について

**質問** 人口減を食い止めるには、企業誘致が欠かせないが、工業用地はほとんど残されていない。埋立失効地を含め、浦ノ崎地区の開発に、早急に取り組むべきではないか。

**答弁 市長** 浦ノ崎地区は、水深18〜23mで、九州はもとより、日本全体でも良港である。港湾機能の充実を図るために、先の浦ノ崎地区公園整備検討委員会の提言を受けた後、更に浦ノ崎地区開発構想策定委員会を立ち上げ、廃棄物処理用地の一部埋め立て等、工業用地造成を踏まえた開発ビジョンを早急に策定したい。

### 危機管理問題

盛 泰子

**質問** 東海村JCOの事故以来、何度もEPZ圏外であることを取り上げ、歴代市長も不満を表明してきたが、県はほとんど伊万里市の主張を受け入れていない。①もつと強く主張すべき。②国主催の「説明番組」のあり方をどう思うか。③市民の安心安全を守るために、災害時の要援護者名簿等の共有促進を。

**答弁 ①②市長、③市民部長**

①EPZ拡大などを市長会で問題提起してきた。玄海2・3号機の運転が再開されるなら、その条件として、放射能測定器を市内に複数設置するように、九電に要請する。(盛・新潟県にあるような電光表示で数値が見える測定器を。風向表示も)  
②もつとオープンな形で開催すべきだ。③人命とプライバシーのどちらを優先

するかは明白なので、総務課と協議して、より良い形を検討する。

### 散弾銃射撃場の法令遵守

草野 謙

**質問** 7月9日で休止することのことで安堵した。合議体の教育委員会で議題に挙げて議論したことはあるか。

**答弁 教育長**

正式に議題として挙げたことはない。今後、しっかりと議論して教育委員会としての方針・方向を見定めた。

### 黒澤問題の検証

**質問** 検証の状況と、寄付金問題についての市の提案への回答は。

**答弁 政策経営部長**

関係文書の収集や整理が済み、検証委員会を3回開催。原資料まで添付した報告書を公開する予定。今月初めに、黒澤プロから寄付者へ文書送付を行う旨の連絡が入った。

### 4市5町で行う広域ゴミ処理システムの変更について

草野 謙

**質問** ゴミ処理システムはどのシステムについても一長一短ある。様々な角度から検証する必要から、専門委員会を設置して厳正で公平な選定作業の結果、セメント原料化システムが最も優れているとの答申を出された。

その事を再検証する事態になり再検証した結果、今度はスラグ化システムシャフト炉式に変更された。

専門委員会が出された案件を変更するには相当の理由があると思うがその理由は。

**答弁 市民部長**

地元の要望として最終処分場の必要がない小さい所がいい。5項目について再検証しスラグ化の方が温暖化対策と安定安全な稼働の点で評価が上がった。セメント原料化については最終処分の処理能力の件で評価が下がった事が理由。

**質問** 今回の再検証の会議の進め方について、疑問と理解し難い疑問点がある。なぜ専門委員さんを外しての再検証か。

**答弁 市民部長**

2次選定までしっかりと審議をして頂き、その時、数点の留意点や注意点を添えて答申を出されていた。だからその点を審議するだけなら必要ないと思った。

**質問** 再検証されたスラグ化シャフト炉システムのプラントメーカーは2〜3社しかないと聞くが、競争原理が働くのか。

**答弁 市民部長**

確かにその通りだが高止まりをしない様にします。  
**質問** 変更になった事をきちんと地元で説明する必要があります。

**答弁 市長**

松浦町13地区を回って説明をする。(二問省略)



次の人事案件について  
選出、同意しました

伊万里市選挙管理委員

及び補充員 (敬称略)

委員 中島 初雄 前田 ヌイ

永益 克子 岩永 孝雄

補充員 金子 照夫 弘川 忠司

有尾 廣 大川内正弘

農業委員会委員 (議会推薦) (敬称略)

前田儀三郎 森 登喜男

暑中お見舞い

申し上げます



公職選挙法の規定により、選挙区内の皆さんへの金品を伴った初盆のお参りや、時候のご挨拶には制限がありますので失礼させていただきます。

議員一同



第34回 伊万里市少年相撲大会・小学生大会

編集後記



4月の伊万里市議会議員選挙後初の市議会だよりです。市議数24名中9名の新人議員が当選され様変わりを感じます。若返った市議会は気持ちも新たに6月の定例議会に臨んだ所です。初議会からいろんな経験をなされた新人議員の方は、貴重な経験をしたと、ポジティブに受け止めていただいているかと思えます。

さて、今回も市議会だよりの発行です。毎回、議員から原稿を頂きますが、前回と比べてデータでの提出が多くなったことは、編集委員にとっても随分と楽になりました。

他市の議会だよりを見てもみますと、どういう議案にどの議員が賛否を表したか、又、どういう会議に出席しているか等、各議員の行動が分かりやすく記載されて

いるところもございます。市民の方々が知りたいこと、議員が進んでお知らせしなければならぬことなどを、議会だよりに載せることが編集委員の務めと肝に銘じております。

議長も開かれた議会を指すと明言されています。内容におきましても議会内の出来事を正直に、市民の皆様に分かりやすく記載するよう努めますので、今後とも議会だよりのご愛読をお願い申し上げます。(多)

編集委員

◎多久島 繁 ○盛 泰子

香月 孝夫 前田 和人

松永 孝三 松尾 博幸

顧問 前田 久年 占野 秀男

樋渡 雅純

発行 伊万里市議会

伊万里市立花町一三五五-1

☎0955-23-2111

☎0955-22-11277

E-mail: gikai@city.inari.lg.jp

編集 市議会だより編集委員会

印刷 山口印刷株式会社